

動物病院独特の臭気を素早く脱臭し、
ゲストやスタッフに不快感を与えません。

「LOSSNAY-INFORMATION」編集事務局



ご採用先

ダクトリ動物病院 京都病院様

住 所：京都市西京区御陵塚ノ越町
建物延床面積：約928m²
建物の種別：鉄筋コンクリート

ダクトリ動物病院 京都病院 紹介

ダクトリ動物病院は30年ほど前に加藤元先生によって設立された動物病院で、その後各地方に広がり、現在は全国に22のダクトリ動物病院があります。その中の1つ、ダクトリ動物病院 京都病院は、森院長をはじめ、スタッフ総勢20名を越える規模の大きな動物病院です。

現在の動物は飼い主にとって「飼うもの」ではなく、「共に暮らす家族」という存在であり、家族の命を守るために、動物病院には高度な医療技術と施設が要求されます。

ダクトリ動物病院 京都病院は、「ヒューマン・アニマル・ボンド（人と動物との絆）」と呼ばれる、人と動物と自然の相互関係、相互作用を理念に、動物たちに人間同様の高度医療を提供するため、施設・スタッフ共万全の体制を整え、医療に取り組まれています。

「ダクトリ」の語源は、スワヒリ語で「医者」という意味です。南アフリカの辺りでは、「獣医師」のことを示しているそうです。

ご採用機種

パワー脱臭カセット形ロスナイ

LGH-10DC×8台

LGH-15DC×5台

LGH-25DC×18台



写真はLGH-25DC

パワー脱臭カセット形ロスナイで 病院内のイヤな臭いを素早く除去します



施主様に
伺いました



ダクトリ動物病院 京都病院
院長 森尚志様

年々動物に対する高度な医療が求められるようになり、ニーズに合わせて設備を入れたり、スタッフを増員した結果、病院が狭くなったので、移転しました。

臭いについては移転前から気を遣っており、窓を開けて風を通したり、継続的に臭いを消すために高価な装置を設置したりしていましたが、状況によって窓が開けられなかったり、場所を取るため、移転先では臭いを一瞬にして取れる建物にして欲しいと依頼しました。

新しい病院へ移り、閉め切った部屋で空気の淀みがある中、パワー脱臭ロスナイを運転したところ、**急速に臭いが除去できることをはっきりと実感しました。**効果に満足しています。

“脱臭”の効果は、感覚的なもので、人により感じ方に差があると思いますが、パワー脱臭カセット形ロスナイは**動物病院での必須アイテム**になるのではないかと思います。

移転前

動物病院 移転前後 脱臭方法比較

移転後

窓の開放による換気は…

動物が逃げ出すのを防ぐため、部屋に動物がいない時のみ窓を開放していた。

換気の自由が
きかない!

オゾン・紫外線脱臭は…

大きな設備のため場所を確保する必要がありました。

設置スペースが必要!

オゾン脱臭は長時間運転をすると、家具等の塗装がはがれることもあり、常時脱臭には向きませんでした。

設備を傷めることも!

ハーブ消臭は…

臭いが発生する度に噴霧して消臭していました。

広いスペースでの
噴霧は大変!

パワー脱臭カセット形ロスナイなら…

スイッチONで換気が可能

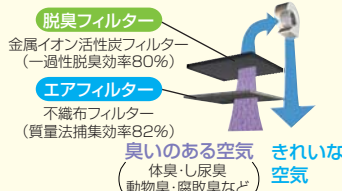
ロスナイ運転を行うことで、窓を開けなくても換気が可能です。熱交換を行い、室内の温度をほとんど変えずに外気を取り込みます。

天井裏に設置するので、ワークスペースを有効に活用できる

フィルター脱臭なので、設備への影響がない

脱臭フィルター（金属イオン活性炭フィルター）搭載でスピード脱臭

一過性脱臭効率80%（1回の通過で80%の臭いを除去）の脱臭フィルターが搭載されており、3大悪臭（アンモニア、メチルメルカプタン、硫化水素）を効率よく除去します。





ARI DESIGN SYSTEM
西小路 敏様

設計者様に
伺いました

建材から設備まで
脱臭に効果の
あるものを
選定しました

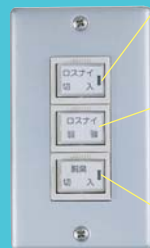
院長先生から「とにかく臭いを一瞬にして取って欲しい」と要望があったので、臭いの原因となる汚れの付着に注力して建材から選択しました。

使用した建材は主に金属とガラスで、汚れが建材に染み込まず、さっと拭き取れるようにしました。また、受付や診察室前室の床面はシートを組み合わせた千鳥格子にしていますが、ここも、汚れた部分だけ取り外してすぐ交換できるよう工夫しています。

しかし、空気中に浮遊する臭気については、動物病院では窓を開けて換気ができないので、パワー脱臭カセット形ロスナイで強制的に吸い込み臭いを取り除くようにしました。

パワー脱臭カセット形ロスナイは 1台で「換気」と「脱臭」を 行います

パワー脱臭カセット形ロスナイは、コントロールスイッチでロスナイ運転と脱臭運転の併用運転はもちろん、それぞれを単独で操作することもできます。



ロスナイ運転スイッチ

ロスナイ運転の入・切を切り換えます。

ロスナイ風量切換スイッチ

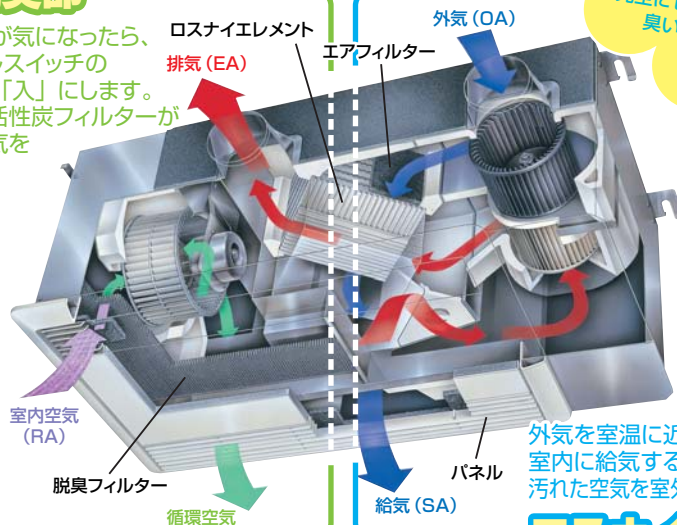
ロスナイ運転の強・弱を切り換えます。

脱臭運転スイッチ

脱臭運転の入・切を切り換えます。
(風量は切り換えできません。)

循環脱臭部

室内の臭いが気になったら、コントロールスイッチの脱臭運転を「入」にします。金属イオン活性炭フィルターが効率良く臭気を除去します。



ロスナイ換気部と、
循環脱臭部は、
完全にセパレートされているため、
臭いが給気に混ざることは
ありません。

外気を室温に近づけながら
室内に給気するとともに、
汚れた空気を室外に排気します。

ロスナイ換気部



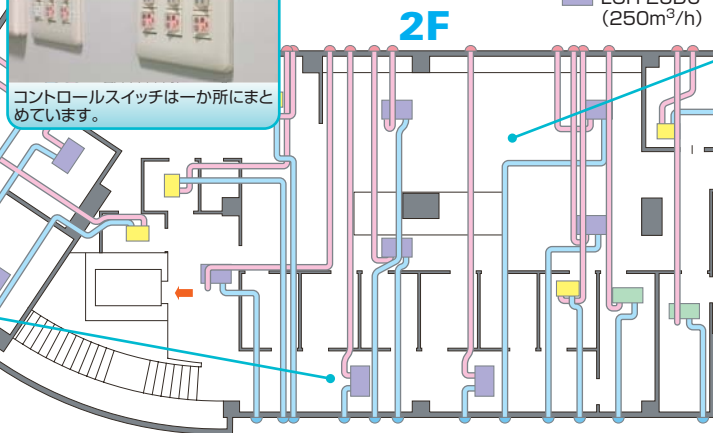
通路兼待合室の天井。パネルの出っ張り
が少ないため、気になりません。



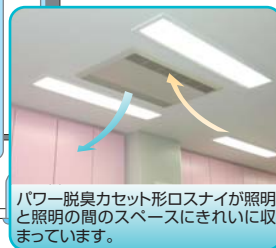
コントロールスイッチは一か所にまと
めてあります。



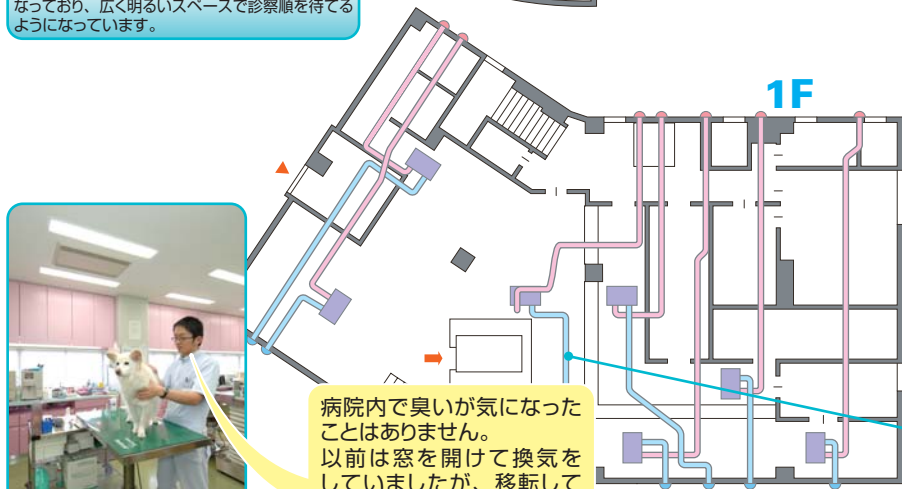
全部で7部屋ある診察室の前。通路兼待合室と
なっており、広く明るいスペースで診察順を待てる
ようになっています。



棚をピンク色で統一したことで、処置室全体が
明るく見えます。



パワー脱臭カセット形ロスナイが照明
と照明の間のスペースにきれいに収
まっています。



動物病院のマスコット犬。いつも
はお気に入りの女性スタッフの後ろ
ばかりを付いて歩くそうです。

病院内で臭いが気になった
ことはありません。
以前は窓を開けて換気をして
いましたが、移転して
きてからは窓を開けずに、
機械換気で24時間運転を
しています。
騒音も気になりませんよ。



ホワイトタイプで天井にフィットする
ため、カラーの天井面に設置しても
建物の意匠を壊しません。



広い受付で白いスーツを着たスタッフが笑顔で
出迎えてくれます。